

令和5年度

四日市市幼児教育センター 活用ガイド

— 幼児教育・保育のさらなる充実のために —



四日市市幼児教育センター

令和5年4月



よっちゃん



かいちゃん



ちーちゃん

はじめに

近年の共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化に伴い、子どもたちがどの施設に通っていても質の高い幼児教育・保育を受けられるよう、体制の充実を図ることが望まれるようになってきました。

これからの幼児教育・保育は、施設の種別を超えて、本市の幼児教育に携わる保育者が協力して必要な専門性を高め、幼児期にあるすべての子どもたちに「生きる力」を育んでいくことが大切であり、そのためには、日々現場で子どもたちの学びと育ちを支えていただく保育者の皆さんへの支援を充実していくことが必要です。

こうした状況のなか、本市は、幼児教育・保育における一層の質の向上と充実を図るため、令和5年4月に四日市市幼児教育センターを開設することとしました。幼児教育センターでは、市内の公立・私立の幼稚園教諭・保育士・保育教諭の皆様を対象に、幼児教育・保育に関する研修会の開催、幼児教育アドバイザーの訪問・相談事業、情報発信・研究を行い、保育者の皆さんを支援します。

この冊子は、保育者の皆様にとって、幼児教育センターが身近に感じられ、利用しやすい施設となるようにと作成しました。幼児教育センター活用の際は、本冊子をご活用いただければ幸いです。

目 次

1.	四日市市幼児教育センターの概要	1
2.	研修	2
	教育・保育施設職員研修年間計画(資料1)	5
	保育者育成指標(資料2)	6
	研修申し込み日程表(資料3)	7
3.	幼児教育アドバイザーの訪問研修	8
4.	幼児教育スーパーバイザーの訪問・派遣研修	9
5.	幼児教育スーパーバイザー講師一覧表	10
6.	情報発信・研究	11
7.	様式集	
	(1) 年間研修計画書(様式1)	
	(2) 幼児教育スーパーバイザー訪問派遣希望調査票(様式2)	
	(3) 幼児教育アドバイザー計画訪問に係るアンケート(様式3-2)	
	(4) 幼児教育スーパーバイザー訪問による園内研修計画書(様式4)	
	(5) 幼児教育スーパーバイザー訪問による園内研修報告書(様式5)	

1 四日市市幼児教育センターの概要

センターの機能

【幼児教育センター3つの機能】

幼児教育センターでは、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の趣旨に基づき、公立私立の幼稚園・保育園・こども園にかかわる職員を対象に3つの事業を行います。

1.「研修」

現場の保育者のニーズを取り入れ、ICTやオンラインを活用した参加しやすい研修を行います。ワークショップや実技などスキルアップにつながる実践的研修や職層別研修を行います。

2.「訪問」「相談支援」

幼児教育アドバイザー（幼児教育アドバイザー・幼児教育スーパーバイザー）が園を訪問し、園内研修や人材育成の支援、相談等を行います。来所による個別相談も随時行います。

3.「情報発信」「研究」

保育環境や教材研究にご活用いただけるように、各園が取り組まれた実践の好事例を展示します。幼児教育・保育に関する研究活動を行います。保育に関する専門書・絵本・DVDなどを図書室に配備します。

施設概要

設置場所：橋北交流会館 3階

【施設概要】

本館1階 橋北こども園
子育て支援センター おひさま
本館2階 橋北こども園
本館3階 幼児教育センター
本館4階 こども子育て交流プラザ
運動施設 体育館、グラウンド



<案内図>



<連絡先>

〒510-0025

四日市市東新町26-32 橋北交流会館3階

TEL:059-333-6002

FAX:059-333-6003

開館時間 平日 9:00~19:00

第2土曜日 9:00~17:00

休館日 日曜日・祝日

土曜日(第2を除く)

第2土曜日と同一週の月曜日

1. 幼児教育センター研修

- ◆幼児教育センターは、保育者の資質や専門性の向上をねらいとし、市内公私立の幼稚園・保育所・認定こども園等のすべての施設に携わる職員を対象とした研修を実施します。
- ◆『保育者育成指標』(資料2)を基に、経験年数に求められる知識や技能を体系立て、研修や職員のニーズに応じた研修を企画しました。
- ◆各園の園長等のみなさまや関係機関と共に研修体制を推進していきます。みんなで教育・保育力アップを目指していきましょう。



詳しくは『R5 教育・保育施設職員研修年間計画(案)』(資料1)
『保育者育成指標』(資料2)をご覧ください。



保育者の教育・
保育力アップ

幼児教育センター・4つの研修

～体系的・計画的で保育者主体の研修～

園全体の教育・
保育の質の向上

I. 全体研修

◇国の動向や最新の幼児教育・保育に関する
研修(講師 汐見名誉教授、大豆生田教授)

II. 職層研修 * 公立園は、指定研修

◇経験年数(キャリア)に応じた体系的で保育
実践力を積み重ねる研修

III. 専門研修 * 公立園、一部必修研修

◇保育者のやニーズや課題に応じた専門的研修
◇グループワーク、実技等、実践的な保育者が
主体の研修

IV 実践研修 * 公立園、各園1名必修研修

◇地域別、拠点園での公開保育や事後研修等、
参加者が学び合う研修

2. 年間研修計画を作成

- ◆市内各園、園長の皆様は、園の職員一人ひとりの年間研修計画を作成してください。その際、職員との相談・対話も大切にしてください。

【公立園】

<年間研修計画>

- ・センターより、各園に職層研修の受講対象者をお知らせします。園長は対象者が期間内に受講できるように研修計画を立案してください。また、保育者育成指標を基に、すべての職員が、年間1～2講座以上をバランスよく受講できるようにしましょう。

★公立園は、4月21日(金)までに各園の年間研修計画書(様式1-1)」をメールにて提出してください。

【私立園】

- ・各講座の受講予定数把握のため、年間研修計画書(様式1-2)を作成し、4月28日(金)までに幼児教育センター宛てにメールで送付してください。

参考(様式1-1)「年間研修計画書」

園名	園長	主任	副主任	職員	その他
〇〇幼稚園					
〇〇保育所					
〇〇認定こども園					
〇〇私立幼稚園					
〇〇私立保育所					

3.研修申し込み・受講について

四日市市幼児教育センターアドレス
<https://yk-youji-kyouiku.com>



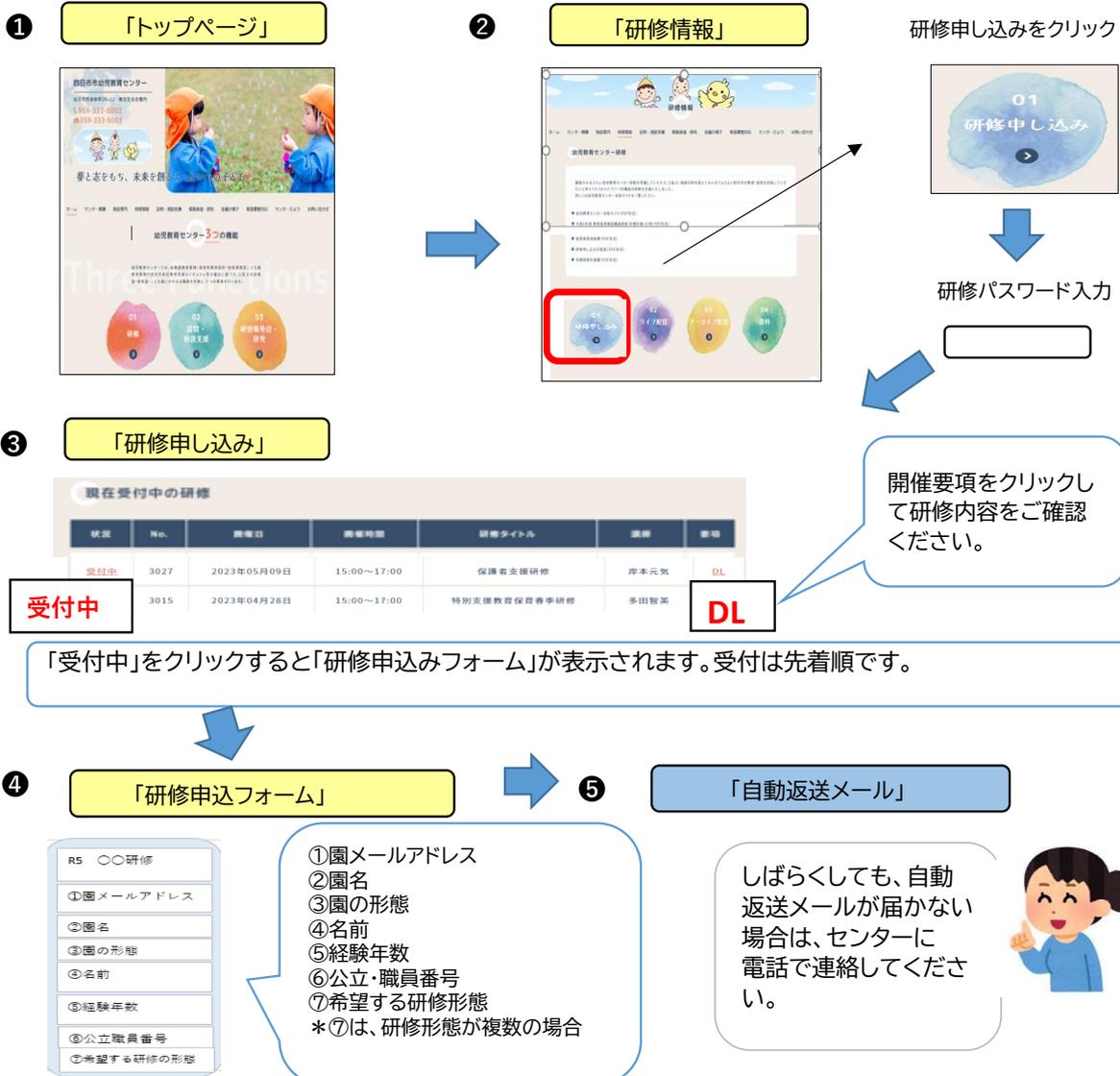
QRコードは、
こちらです。



(1)研修申し込みの流れ

「研修申し込み」手順 5つのステップ

- ◎ 研修は、幼児教育センターWebサイトからお申し込みください。
- ①「トップページ」⇒「トップページ」から、研修情報をクリック。
- ②「研修情報」⇒「研修情報」から「研修申し込み」をクリックし、研修パスワードを入力。
★研修パスワードは、市内各園のみなさまへ事前にお知らせします。パスワードが外部に流出しないよう、お気をつけください。
- ③「研修申し込み」⇒希望する研修講座の開催要項を確認し、選んで受付中をクリック。
- ④「研修申し込みフォーム」⇒必要事項(園メール、園名、受講者氏名等)を入力し、送信。
- ⑤「自動返信メール」⇒「自動返信メール」が園に届いたら申し込み手続き完了。



(2)令和5年度 研修申し込み日程表

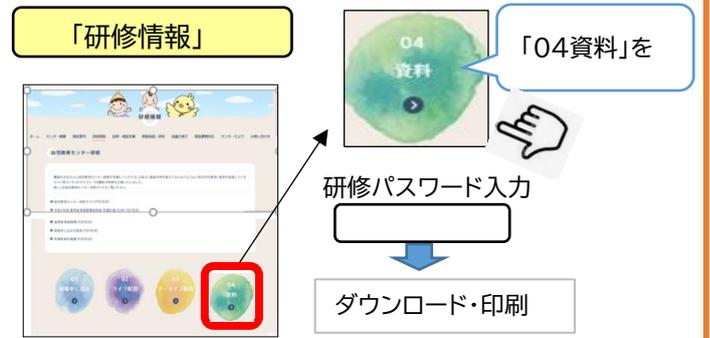
研修申し込みの日程は、(資料3)をご覧ください。

(3)受講キャンセル

受講申し込み後に集合・Zoom研修をキャンセルされる場合、センターに電話でお知らせください。

(4)資料・事項書

- ・研修資料・事項書等は研修のおおよそ3日前までに「研修情報」に掲示します。
- ・集合・オンライン研修の受講者は、研修当日までに 必要な「資料・事項書」書類(PDF)をダウンロードし印刷してください。
- ・「研修情報」から、「04資料」をクリックし「研修パスワード」を入力。



(5)研修受講について(4つの受講形態があります。)

①集合

- ・当日までに事項書で場所や持ち物など、ご確認ください。資料は印刷して当日会場にお持ちください。研修等で急な変更があった際は、本サイトの「ホームページ」の「緊急情報」でお知らせします。

②Zoom

- ・当日は、「ミーティングID」「パスコード」を入力し、開始時間までにZoomに入室してください。「ID」「パスワード」は事項書に記載します。

③ライブ

- ・集合研修を撮影し、同時刻にリアルタイムで動画配信します。

④アーカイブ

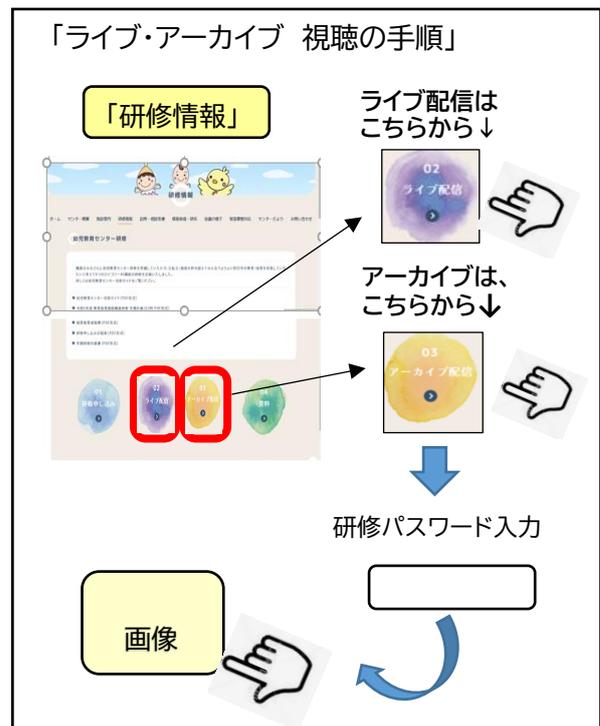
- ・おおよそ2週間の配信期間中、保育者の都合のよい時間に、いつでもご視聴いただけます。何回かに分けてのご視聴も可能です。ぜひ、ご活用ください。

【ライブ配信とアーカイブ配信視聴の手順】

- ・「研修情報」⇒ライブ配信又はアーカイブ配信をクリックし研修パスワードを入力。
- ・画像をクリックしてご視聴ください。

❀アンケートについて❀

- ・研修受講後は、アンケートにご協力ください。
- ・事項書アンケート用QRコードから、お答えください。



【研修受講証】

- ・研修の受講後に受講証(シール)を発行します。なお、オンライン研修に参加の方は、各園にまとめて送付します。研修の受講履歴にお使いください。
- ・センターに受講証(シール)を張る台紙も用意していますので、ご希望の方はご利用ください。「研修情報」から、ダウンロードもできます。

分野	No.	研修(内容)	講師名	日程	曜日	実施回数	定員		研修形態	対象者	ねらい	
							集合	オンライン				
I 全体研修	1001	全体研修 「ドキュメンテーション・ICT等」	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 大豆生田啓友	6月10日	土	1回		250名	zoom	全職員	★広い視野や保育の専門性を高める	
	1002	全体研修 「子どもの未来につながる保育」	東京大学 名誉教授 汐見 稔幸	11月11日	土	1回		300名	zoom ◆アーカイブ	全職員		
II 職層別研修	初級	2003	初級研修 保育の心構え	高田短期大学 講師 金森まさ子	6月8日	木	1回	40名		集合	主に1年目	★保育者としての自覚を持つ。
		2004	初級研修(乳児) 「0・1・2歳児の発達と保育」	常盤会短期大学 幼児教育学科 講師 保田 維久子	6月20日	火	1回	60名	30名	集合・ライブ	おおむね 2・3年目	★乳児・幼児教育分野など、幼児理解や保育に必要な基本の知識を身につける。
		2005	初級研修 「保育内容の理解と実践」	名古屋学芸大学教授 ヒューマンケア学部 学科長・教授 津金 美智子	6月26日	月	1回	60名	30名	集合・ライブ	おおむね 2・3年目	
	中級	2006	中級研修 「人権の視点での教育保育」	常盤会短期大学 幼児教育学科 教授 上村 真一朗	8月17日 11月17日	木 金	連続 2回	60名	30名	集合・ライブ ◆アーカイブ	おおむね 5年目	★子どもにとってどうなのかという視点でクラス運営や自園の保育理念を実践する力を育む。
		2007	中級研修 「子ども理解と保育実践」	桜花学園大学 保育学科 教授 上村 晶	7月25日	火	1回	60名	30名	集合・ライブ	おおむね 5年～10年	
	上級	2008	上級研修 「園内研修等、リーダー研修」	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	9月 7日	木	1回	60名	30名	集合・ライブ	おおむね 11年以上	★園の保育リーダーとしての自覚を持つ。
	施設長等	2009	施設長等研修 「組織マネジメント研修」	和洋女子大学 こども発達学科 教授 矢藤 誠慈朗	7月20日	木	1回		150名	zoom	管理職 主任・副園長	★園のリーダーとしての資質を高める。
III 専門研修	A 教育・保育	3010	教育保育研修 「乳児保育分野」	保育環境アドバイザー 新井 寛子	10月30日	月	1回	70名	30名	集合	全職員	★こども理解、保育の計画評価、保育内容の理解と実践など、研修を通して保育の実践力を高めていく。
		3011	教育保育研修 「指導計画・記録・評価」	大阪総合保育大学 学長 大方美香	10月17日	火	1回		100名	zoom	全職員	
		3012	教育保育研修 「遊びを通じたこどものまなび」	岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 西川 正晃	8月10日	木	1回	70名	30名	集合・ライブ	全職員	
		3013	教育保育研修 「こども主体の保育環境」	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	11月27日	月	1回		100名	zoom1H	全職員	
	B 特別支援	3014	*特別支援教育保育研修 (グループワーク)	保育幼稚園課 連続研修(5回)	*参照		5回	60名		集合	おおむね5年以上 各園1名	★特別支援教育・保育の専門的知識を高め、一人一人の子どもに合わせた支援や関わりを身に付ける。また、インクルーシブ教育・保育の理念を学ぶ。 *No.3014 連続研修日程案 第1回 6/15(木) 第2回 7/14(金) 第3回 8/30(水) 第4回 10月、11月 公開保育調整中 第5回 2/14(水)
		3015	特別支援教育保育春季研修 「こどもの発達理解と支援」	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 准教授 多田 智美	4月28日	金	1回		100名	zoom	全職員 *3014参加者	
		3016	特別支援教育保育夏季研修 「こどもの発達理解と支援」	三重大学 教育学部 特別支援教育学科 教授 菊池 紀彦	8月30日	水	1回	60名	60名	集合・ライブ	全職員 *3014参加者	
		3017	特別支援教育保育冬季研修 「こども・保護者主体の支援」	愛知県立大学 准教授 三山 岳	12月11日	月	1回	60名	60名	集合・ライブ	全職員 *3014参加者	
		3018	特別支援教育保育研修 「インクルーシブ教育保育」	国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹	5月18日	木	1回		100名	zoom	全職員	
		3019	特別支援教育保育研修 「こどもの発達に応じた支援」	児童発達支援センター 作業療法士 岡本夏紀	9月		1回		150名	◆アーカイブ	全職員 加配担当者	
		3020	特別支援教育保育研修 「保護者支援について」	放課後デイばらりすあんど 心理作業士 鈴木 ともひろ	9月13日	水	1回	60名	50名	集合・ライブ	全職員	
		3021	特別支援教育保育研修 「CLM研修」	こども発達支援課	6月22日	木	1回	60名		集合・ライブ	全職員	
	C 人権	3022	人権教育保育研修	三重県人権センター 中村 尚生	7月4日	火	1回	60名	30名	集合・ライブ	全職員 *3023参加者	★人権意識を高め、1人ひとりの子どもを大切にしたい保育実践へとつなげる。
3023		人権教育保育研修 (グループワーク)	保育幼稚園課	7月4日 11月29日	火 水	連続 2回	50名		集合	おおむね5年以上 各園1名		
3024		人権教育・保育研修 「性と命の大切さ」	四日市看護医療大学 看護医療学部 准教授 日比 千恵	3月5日	火	1回		90名	zoom	全職員		
D 幼保小連携・接続	3025	保幼小連携・接続 (グループワーク)	三重大学 教育学部 幼児教育学科 教授 富田 昌平	7月31日	月	1回	60名	40名	集合・ライブ ◆アーカイブ	全職員 *5歳担当者	★「10の姿」連続したこどものまなび」を基に、就学前施設と小学校との連携・接続を学ぶ。	
	3026	保幼小連携・接続	兵庫教育大学 小学校教員養成特別 コース 准教授 鈴木 正敏	1月11日	木	1回		90名	zoom	全職員		
E 保護者支援	3027	保護者支援 保育に活かせる保護者対応	親子のメンタルヘルス研究所 所長 岸本 元気	5月 9日	火	1回		110名	zoom ◆アーカイブ	全職員	★保護者に思いを寄せ、保育者が、ともに子どもを育てるパートナーとしての意識やかわりを学ぶ機会とする。	
	3028	保護者支援CSP研修	一般社団法人 オッジヒューマンネット 認定管理者 伊藤 望美	12月18日	月	1回	45名		zoom	全職員		
F 健康・安全	3029	食育	皇學館大学 教育学部 教授 駒田 聡子	5月29日	月	1回		80名	zoom1H	全職員	★子どもの健康、安全、衛生に配慮しながら保育を進める力を身につける。	
	3030	保健衛生・安全対策	四日市市役所 保育幼稚園課 保健師 羽木 勝代	7月		1回		100名	◆アーカイブ	全職員・おおむね 5年未満		
	3031	メンタルヘルス(職員)	株式会社オフィス優 心理カウンセラー 水野 優子	2月27日	火	1回	60名		集合	全職員	★自分の心と体を整え、明日の保育への意欲を高める。	
G 保育力アップ	3032	ドキュメンテーション (ワークショップ)	三重大学 教育学部 幼児教育学科 講師 水津 幸恵	2月20日	火	1回	50名		集合	全職員・おおむね 11年以上	★No.3032 教育・保育で大切にしていることを可視化し、子ども理解を深める。	
	3033	実技(絵画)	合同会社arte colore(アルテカラーレ) 共同代表 桐島 歩・石黒雅人	10月19日	木	1回	60名		集合	全職員	★No.3033～3037 保育技術を高めて、日々の保育実践に活かす。 *おおむね10年未満の方は、実践の幅を広げる機会となり、おすすめです。	
	3034	実技(運動)	中部学院大学・中部学院大学短期大学部 教育学部 こども教育学科 平井 博史	7月10日	月	1回	60名		集合	全職員		
	3035	実技(絵本)	日本知育玩具協会 理事長 藤田 篤	5月24日	水	1回		110名	zoom	全職員		
	3036	実技(リズム遊び)	皇學館大学 教育学部 教育学科 准教授 高橋摩衣子	11月20日	月	1回	60名		集合	全職員		
	3037	遊び・玩具の魅力	とりのす工房 川北 恭子	6月2日	金	1回	60名		集合	全職員		
IV 実践研修	公開保育(研究)	4038	実践検討会(第1ブロック・北部)	岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 西川 正晃	12月7日	木	1回	40名		集合		各園1名
		4039	実践検討会(第2ブロック・中部)	桜花学園大学 保育学科 教授 上村 晶	12月8日	金	1回	40名		集合	各園1名	
		4040	実践検討会(第3ブロック・南部)	三重大学 教育学部 幼児教育学科 教授 富田 昌平	11月10日	金	1回	40名		集合	各園1名	

保育者育成指標		保育者（幼稚園教諭、保育士、保育教諭）としての資質向上における指標モデル				
		四日市市				
ライフステージ	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	第5ステージ	
	おおむね1年～4年	おおむね5年～10年	おおむね11年以上	副所（園）長・主任・教頭	所長・園長・施設長	
	基礎形成期	伸長期	充実期	次世代育成期	深化・円熟期（管理職）	
資質能力にかか	保育の様々な実践のスキルを磨き、保育者としての基本を身につける。	基礎形成期の多様な経験に実践力を高めるとともに、チーム保育の大切さを認識し、若手保育者のモデルとなる。	多様な専門的知識と経験をもとに質の高い実践を展開するとともに、全園的な視野にたつた指導力を身につける。	職員の人材育成を行うとともに、園長を補佐して園の教育・保育目標に向けた取り組みを推進する。	園の経営方針を示して組織的な運営を行うとともに、地域や連携機関と連携をとり取り組みを進める。	
	子どもへの深い愛情と保育者としての責任感や使命感を持ち職務を遂行する。	子どもへの深い愛情と保育者としての責任感や使命感を持ち、同僚の抱える課題に気づき、共に考え指導助言を行う。	子どもへの深い愛情と保育者としての責任感や使命感を持ち、同僚の抱える課題をとりえ、指導助言を行う。	子どもへの深い愛情と保育者としての責任感や使命感を持ち、職員に対して規範を示すとともに、園の社会的役割を理解して地域と共に園づくりをする。	子どもへの深い愛情と保育者としての責任感や使命感を持ち、職員に対して規範を示すとともに、園の社会的役割を理解して地域と共に園づくりをする。	
	園の役割や機能を理解し、専門職としての資質を高めるために自ら学ぶ意欲を持つ。	自己課題をもって研修に参加し、同僚と課題を共有しながら学び続けようとする。	自己課題をもって研修に参加し、同僚へ自己研修の大切さを示したり、指導力を高める。	探求心を持ち自己研鑽に努めるとともに、園全体の動きを把握しながら職員研修のマネジメントをする。	探求心を持ち自己研鑽に努めるとともに、一人ひとりの保育者の自己実現の場を確保し、園全体の学び合う雰囲気をつくる。	
	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育・保育を展開する。 保護者や子どものプライバシーに配慮し、個人情報の保護を心がける。			高い倫理観をもって、法令を遵守した教育・保育を展開することについて保育者に指導・助言をすることができる。 保護者や子どもの個人情報並びに園運営に関する情報の管理に注意を払い、職員への情報管理の指導ができる。		
	相手の思いを受け止めるとともに、自らの考えを適切に伝え、子ども、保護者、職員と積極的に関わり、必要な報告・連絡・相談を行う。	組織の一員として、職務を遂行するために必要な報告・連絡・相談を確実にし、子ども、保護者、職員との信頼関係を構築することができる。	子ども、保護者、職員、地域等との信頼関係を構築するとともに、同僚の抱える課題に気づき、共に考え指導助言を行う。	子ども、保護者、職員、地域等との信頼関係を構築するとともに、同僚の抱える課題を捉え、一人ひとりの個性に合わせて指導助言をする。	子ども、保護者、職員、地域等との対話を促進し、信頼関係を構築するとともに、働きやすい職場づくりや地域との連携を進める。	
日々の保育を円滑に進行させるために必要な事務を行う。	日々の保育を円滑に進行させるために必要な事務を的確に行うことができる。若手保育者に助言を行う。	日々の保育を円滑に進行させるために必要な事務を的確に行うことができる。若手保育者に助言を行う。	日々の保育を円滑に進行させるために必要な事務を的確に行うことができる。若手保育者に助言を行う。	日々の保育を円滑に進行させるために必要な事務について進捗状況を管理し、職員が自信をもって行えるよう、体制を整える。		
保育者に求められる資質	保育者としての姿勢・使命感					
	倫理観・法令遵守					
	コミュニケーション力					
	事務処理能力					
	保育実践力					
教育・保育を担うに必要とされる専門性	こども発達理解・人権意識	子どもと共に行動し、子どもの思いや気持ちを丁寧に感じ取ろうとする。	子どもの発達や個人差を理解し、一人ひとりのよさや可能性を把握する。	発達や個人差の観点から子どもを理解し、保育者が子ども理解を中心とした保育を進められるようにする。	職員が子ども一人ひとりの発達や個人差に基づいて、子どもを多面的な視点で深く理解するよう具体的に示す。	
	保育の計画・評価	要領・指針のねらいや内容を理解し、保育指導計画を作成し実践することができる。	子どもの姿や「幼児期に育てたい10の姿」の視点で保育指導計画を立案し、評価・振り返りを繰り返しながら、見直しを持ち保育をする。	園の行事や日々の保育などで実践の中心的な役割を果たし、職員と実践を振り返りながら長期の年間計画を見直ししていく。	職員との話し合いに積極的に参加し視覚的に提示しながら、子ども中心の視点で年間指導計画の評価・改善に努める。	
	保育内容の理解と実践	保育のねらいや内容を理解し、子どもの興味関心を考慮して、保育を行うことができる。	子どものつづみやきなどから、興味や関心のあることを捉え、活用できる環境を探り、実践を展開することを楽しんで行う。	他クラスや他学年の保育の展開を意識して、園全体の環境を視野に入れて豊かなものや人の関わりを生み出す実践を行う。	各職員の意見を反映しつつ、協働して子どもの主体的な遊びを保障するための環境構成を職員と共に作っていく。	
	特別な配慮を要する子どもの保育	日常の姿から一人ひとりの発達や特性を理解し、その援助を知ったり工夫する。	園と集団の育ちを意識して、一人ひとりの発達や特性を捉え、必要な援助を行う。	保育者のモデルとなり、子どもたち（集団）の援助をするとともに、子ども一人ひとりに応じた適切な援助をする。	各職員が一人ひとりの興味や発達に沿った環境づくりや援助を適切に行えるよう、指導助言する インクルーシブ保育の視点で職員と保育を振り返る機会をつくる。	
	組織としての園の理解と運営	園の保育目標や組織を理解し、責任を持ってクラス運営をする。	園の保育目標や組織を理解し、後輩に助言をしながら、組織のミドルリーダーとして園務の遂行に努める。	園務について理解を深め、組織として中心的な役割を自覚し、よりよい園経営に向けて、園務を遂行しながら改善を提案する。	職員の関心や立場、負担などを踏まえて、所長・園長を補佐しながら、よりよい園務の改善や遂行に努める。 問題解決に向けて、組織として対応できるようにする。	
職員間の連携	組織の一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談の連携の大切さを知る。	組織の一員としての役割や責任を自覚して、報告・連絡・相談など園内のチームワークを考えて行動する。	それぞれの立場の職員と積極的に話をして理解を深め、よりよい実践になるよう保育者間の連携を図る。	職場の人間関係が円滑にいくような雰囲気づくりをし、園長を補佐するとともに、職員と信頼関係を築き、必要に応じて職員を支援したり温かく見守る。		
健康・安全と危機管理	健康面・安全面などの危機管理を理解し、マニュアルに沿った環境を整える。	園全体の危機管理について自分の役割を理解し、危険を察知し、すぐに発信し行動する。	園長を補佐し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立する。	危機を予測し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立する。		
家庭との連携子育て支援	保護者の気持ちに寄り添い受けとめながら、子どもの姿を共有し、保護者との良好な関係を築く。	相談しやすい雰囲気をつくり、保護者の思いを受容的に受け止め、家庭との信頼関係を築く。 教育・保育の意図を保護者に伝える。	保護者同士の関係をつなぎ、保護者が育ち合う場を提供する。 保護者に教育・保育の意図や遊びや体験を通しての子どもの育ちを伝える。	園内で役割分担をしながら、組織として保護者を支援するための役割を担う。 苦情処理能力を身につける。		
地域・小学校・関係機関との連携	地域の特性について理解する。 幼児期の終わりに育ってほしい姿を理解して実践する。	地域の特性について理解し、連携・協働の大切さに気づき、保育に取り入れていく。 育みたい資質・能力について理解し、学びや発達を見通した計画及び実践を行う。	様々な機会を通して子どもや保護者と地域とのつながりを深めていく。 育みたい資質・能力について理解し、子どもの育ちを伝える。	園長を補佐し、地域との信頼関係を築き、地域の特性を活かした園づくりを進める。 育みたい資質・能力について理解し、カリキュラム等の見直しを図る。		



令和5年度 研修申し込み日程表



実施月	HP掲載日・研修受付開始・	受付終了
4月	4月7日(金)	4月14日(金)
5月	4月7日(金)	4月14日(金)
6月	4月25日(火)	5月9日(火)
7月	5月25日(木)	6月6日(火)
8月	6月26日(月)	7月5日(水)
9月	7月25日(火)	8月8日(火)
10月	8月25日(金)	9月5日(火)
11月	9月25日(月)	10月5日(木)
12月	10月25日(水)	11月7日(火)
1月	11月24日(金)	12月5日(火)
2月	12月18日(月)	1月9日(火)
3月	1月25日(木)	2月6日(火)

3 幼児教育アドバイザーの訪問研修

1. 幼児教育アドバイザーは

・公立の幼稚園・保育園での勤務経験がある園長経験者や、小学校の校長経験者などです。

2. 学期に1回程度、4人のアドバイザーが分担して各園を訪問し、年間を通して園のニーズに応じた現場に寄り添った支援をします。

(保育園・こども園・幼稚園担当 3名)が、幼稚園・こども園・保育園・小規模園を訪問します。
(保幼小連携担当 1名)は、主に幼稚園・保育園・こども園の5歳児クラスを訪問します。

幼稚園	29園 (公立15園 私立14園)	年2回以上訪問 (前期・後期)
保育所	45園 (公立17園 私立28園)	年2回以上訪問 (前期・後期)
こども園	10園 (公立7園 私立3園)	年4回以上訪問 (前期2・後期2)
小規模保育所	20園 (私立20園)	年1回以上訪問

3. 次のような研修内容について、園・所の先生方のお話を伺いながら保育実践について一緒に考え支援をします。

こども理解・環境構成

(例) ・子どもの気持ちを読み取る保育者の関わり
・子どもの豊かな経験につながる環境構成
・子どもの発達につながる保育者の関わりと手立て等

保護者対応

(例) ・信頼関係を築き、共感し合う関係づくり
・家庭との連携と継続的な保護者支援や気持ちの受け止めについて 等

小学校との接続

(例) ・幼児期から児童期への発達の流れを理解した保育者の働きかけについて
・連続する子どもの発達や学びを導く手立てについて

人材育成

(例) ・共通カリキュラムや育成指標に基づいた保育実践について
・保育者が目標をもって保育をする手立てやメンタルヘルスについて

Q 訪問する日や時間帯は？

A 月曜日から金曜日の9:00~17:00の間の希望日時で調整をします。訪問日時の調整は、幼児教育センターからご連絡いたします。

Q どのような時間配分がいいの？

A 午前中の保育を観察し 午睡の時間を利用して参加できる先生方で事後研修をすることも可能です。

Q 費用はかかるの？

A 園がご負担いただくことはありません。無料です。

訪問の時に園は特別な準備をするの？

A 園が特別準備をすることはありません。園のお話を伺いながら、幼児教育アドバイザーが計画表を作成します。訪問後のアンケートにご協力いただき、ご意見をお聞かせください。

4. 訪問の流れについて ※下記の方法で訪問研修を行います

- ①訪問に何う前に園の様子や課題に感じている具体的な内容をお聞きかせください。その内容をもとに幼児教育アドバイザーが年間のスケジュールを作成します。
 - ②打ち合わせの際に研修内容を一緒に確認し、幼児教育アドバイザーから当日の流れ(様式3-1)を園に送付します。
 - ③当日幼児教育アドバイザーが園を訪問し、保育者の子どもへの関わりなどを観察し、園が課題に感じられていることを伺いながら、よりよい手立てをともに考え、アドバイスをします。
 - ④訪問終了後、訪問アンケート(様式3-2)にてご意見をお聞かせください。
 - ⑤園の先生と研修を振り返り、次のステップに向けて一緒に考え打ち合わせを行います。
- ※個別の相談がある場合は、幼児教育センターで受け付けますので、電話にてご連絡ください。

4 幼児教育スーパーバイザーの訪問・派遣研修

1. スーパーバイザーとは

- ・学識経験者や専門家など、幼児期の教育や保育に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有するアドバイザーです。
- ・公立・私立の幼稚園・保育園・こども園からの要請に応じて、スーパーバイザーを派遣します。
- ・幼児教育センターが訪問日程を調整をし、園内研修を通じて相談支援を行います。

2. 研修内容

幼児教育

- (例)
- ・幼児の主体性を大切にしながら豊かな体験と遊びの充実
 - ・身近な人や環境に親しみ、自分らしさを発揮して意欲的に活動する支援について

特別支援教育

- (例)
- ・支援・配慮に必要な幼児の理解と保育者の関わりについて
 - ・遊びや生活を通して、人と関わる力や豊かな言葉を育てる支援について

健康・体力向上

- (例)
- ・体幹を培う運動遊びの指導の在り方
 - ・子どもが生き生きと体を動かして遊ぶための環境の工夫と援助について

絵画表現

- (例)
- ・年齢に応じた子どもの創造性を育てる工夫と配慮について
 - ・子どもの表現から子どもの内面を理解した関わりについて

午前（保育観察）	午後（園内研修）
10:00 【オリエンテーション】 ・課題や研修内容の確認 10:10 【保育観察】 ・テーマに沿った保育参観 12:00 【昼休憩】	13:00 【講義・研究協議】 ・テーマに沿った講義 ・意見交換 ・教育・保育についての助言等 15:00 【園内研修終了】 ・報告書の作成



時間の配分は、一例です。
午前または午後だけのパターンも可能です。

3. スーパーバイザーの訪問の流れについて

- ①園にスーパーバイザーの派遣希望（様式2）をお尋ねします。
- ②幼児教育センターが大学等と調整します。
- ③講師先生の決定後、幼児教育センターからお知らせします。
- ④幼児教育センターが日程・詳細内容を調整いたします。
- ⑤希望された園は計画書（様式4）を幼児教育センターに送付してください。
- ⑥スーパーバイザーが園を訪問します。
- ⑦スーパーバイザーの訪問後、園は訪問報告書（様式5）を幼児教育センターに送付してください。

5. 幼児教育スーパーバイザー講師一覧表

<三重大学学識経験者> 各園1回の訪問

名前	役職	教科・領域	テーマ及び内容
富田昌平	教授	幼児教育	・子どもの主体性を大切にされた豊かな体験と夢中になれる遊びの充実 ・基本的な生活習慣を身に付け、心も体も安定して意欲的に遊ぶ子を育てる保育
水津幸恵	講師	幼児教育	・幼児の主体的活動を支え、発達や学びを保障する保育者の関わり ・ドキュメンテーションを取り入れたことも理解について
菊池紀彦	教授	特別支援教育	・支援や配慮の必要な子どもの理解と集団の中で共に育ち合う保育 ・遊びや生活を通して豊かな言葉や人と関わる力を育てる
松浦直己	教授	特別支援教育	・支援や配慮を必要とする子どもの理解と、友だちとの関わりの中での育ち合いについて ・支援・配慮の必要な幼児の理解と保育者の関わりについて
郷右近歩	教授	特別支援教育	・集団の中で育ち合う援助のあり方について ・支援の必要な子どもの心理発達と愛着形成について
岡野昇	教授	健康・体力向上	・体幹を培う運動遊びについて ・学びの基礎を育むための夢中になれる遊びと保育者の関わり
八木規夫	教授	健康・体力向上	・子どもが生き生きと体を動かして遊ぶための環境の工夫と援助 ・運動遊びを通じた子どもの心身の発達や支援の在り方について
加納岳拓	教授	健康・体力向上	・主体性や非認知能力を育む遊びについて ・体幹を鍛える運動遊びについて
調整中		絵画表現	・子どもの発想を柔軟に受け止め 子どもの創造性を育む保育者の援助について ・子どもの年齢発達に応じた制作・描画活動の指導方法

<他大学学識経験者 専門家> 各園1回の訪問(上村教授は2回訪問 臨床心理士は午後の訪問)

名前	役職	教科・領域	テーマ及び内容
西川正晃	岐阜聖徳学園大学 教授	幼児教育	・非認知能力を育む遊びや保育者の関わりについて ・学びに向かう力を育てる環境のあり方について
上村 晶	桜花学園大学教授	幼児教育	※2回訪問がセット ・幼児期の主体的・対話的で深い学びに関する保育者の関わりについて ・子どもから始まる豊かな遊びと環境構成
多田智美	鈴鹿医療科学大学 助教	特別支援教育	・支援や配慮の必要な子どもへの関わりや手立てについて ・遊びや生活を通して豊かな言葉や人と関わる力を育てる
金森まさ子	高田短期大学 講師	幼児教育	・子どもが生き生きと夢中になれる遊びの充実 ・子どもの主体性を引き出し、ともに楽しむ保育者の関わり
調整中	臨床心理士	特別支援教育	※臨床心理士講師は、午後の訪問 ・支援や配慮の必要な子どもの理解と保育者の関わり方について ・支援を必要とする子どもが友だちの中で心地よく園生活を送るには

5 情報発信・研究

1. 情報発信

- 幼児教育センターのホームページで、市や県主催の研修会を案内します。
また、幼児教育センターだよりを毎月掲載しますので、ぜひご覧ください。
※ <https://yk-youji-kyouiku.com>
- 展示室を活用して、各園の教育・保育の取り組みなどの広報を行います。



2. 研究

- 幼児教育・保育研究協議会を設置し、市内の公私立の幼稚園・保育園・認定こども園など幼児教育・保育に携わる関係者と学識経験者が集まり、今日的な教育・保育課題についての実態調査や幼児教育・保育の振興に関する研究を行います。
- 三重大学との連携により、公開研修等を通じて学識経験者から理論を学び、専門性を兼ね備えた実践力の向上や園内研修の活性化に関する研究を行います。
- 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との接続にかかる実践など、学びの一体化に関する研究を行います。

6 館内施設について

<施設配置図>

橋北交流会館 3階



<施設の内容>

部屋名	概要
①相談室	市内の幼稚園・保育園・こども園で働く保育者の方を対象に、幼児教育・保育に関する相談や悩みを受け付けます。ご都合のよい時間に相談室にて伺いますので、お気軽にお問い合わせください。
②事務室	相談・施設利用の窓口です。
③図書室	幼児教育・保育に関する専門書籍、定期刊行誌、絵本、大型絵本・紙芝居などの閲覧やDVD教材の視聴、貸出を行います。*一般の方は閲覧のみ ・開館時間：平日9:00～19:00（第2土曜日9:00～17:00） ・貸出・返却：事務所受付
④実技研修室	保育模擬室です。制作や遊びのコーナーがあり、ピアノの練習もできます。保育の実践に向けてぜひご利用ください。
⑤第1研修室	集合研修の実施、オンライン研修の配信などを行います。*オンライン配信用機材は第2研修室に設置 ・利用人数 第1研修室 最大100名 第2研修室 最大 80名
⑥第2研修室	
⑦展示室	各園の紹介、取り組み、こどもの作品等を掲示、展示します。 *一般の方閲覧可

【お問い合わせ先】 四日市市幼児教育センター

TEL059-333-6002 FAX059-333-6003

R5年度 年間研修計画書

園名	
施設長名	

名前					
保育経験年数	年目	年目	年目	年目	年目
I 全体研修					
II 職層研修					
III 専門研修					
IV 実践研修					

令和5年度 年間研修計画

No.	日程		研修(内容)	講師名	園名		保育者・教諭数		名
					集合研修・参加人数 *数字を入れてください	Zoom・参加人数 *数字を入れてください	ライブ配信・参加人数 *数字を入れてください	アーカイブ配信・参加人数 *数字を入れてください	
1001	6月10日	土	全体研修 「ドキュメンテーション・ICT等」	大豆生田啓友					
1002	11月11日	土	全体研修 「こどもの未来につながる保育」	汐見 稔幸					
2003	6月8日	木	初級研修 保育の心構え	金森まさ子					
2004	6月20日	火	初級研修(乳児) 「0・1・2歳児の発達と保育」	保田 維久子					
2005	6月26日	月	初級研修 「保育内容の理解と実践」	津金 美智子					
2006	8月17日 11月17日	木 金	中級研修 「人権の視点での教育保育」	ト田 真一朗					
2007	7月25日	火	中級研修 「こども理解と保育実践」	上村 晶					
2008	9月 7日	木	上級研修 「園内研修等、リーダー研修」	瀧川 光治					
2009	7月20日	木	施設長等研修 「組織マネジメント研修」	矢藤 誠慈朗					
3010	10月30日	月	教育保育研修 「乳児保育分野」	新井 寛子					
3011	10月17日	火	教育保育研修 「指導計画・記録・評価」	大方 美香					
3012	8月10日	木	教育保育研修 「遊びを通じたこどものまなび」	西川 正晃					
3013	11月27日	月	教育保育研修 「こども主体の保育環境」	瀧川 光治					
3014	*参照		*特別支援教育保育研修 (グループワーク)連続5回	保育幼稚園課					
3015	4月28日	金	特別支援教育保育春季研修 「こどもの発達理解と支援」	多田 智美					
3016	8月30日	水	特別支援教育保育夏季研修 「こどもの発達理解と支援」	菊池 紀彦					
3017	12月11日	月	特別支援教育保育冬季研修 「こども・保護者主体の支援」	三山 岳					
3018	5月18日	木	特別支援教育保育研修 「インクルーシブ教育保育」	久保山 茂樹					
3019	9月		特別支援教育保育研修 「こどもの発達に応じた支援」	岡本 夏紀					
3020	9月13日	水	特別支援教育保育研修 「保護者支援について」	鈴木 ともひろ					
3021	6月22日	木	特別支援教育保育研修 「CLM研修」	こども発達 支援課					
3022	7月4日	火	人権教育保育研修	中村 尚生					
3023	7月4日	火	人権教育保育研修 (グループワーク)	保育幼稚園課					
3024	3月5日	火	人権教育・保育研修 「性と命の大切さ」	日比 千恵					
3025	7月31日	月	保幼小連携・接続 (グループワーク)	富田 昌平					
3026	1月11日	木	保幼小連携・接続	鈴木 正敏					
3027	5月 9日	火	保護者支援 保育に活かせる保護者対応	岸本 元気					
3028	12月18日	月	保護者支援CSP研修	伊藤 望美					
3029	5月29日	月	食育	駒田 聡子					
3030	7月		保健衛生・安全対策	羽木 勝代					
3031	2月27日	火	メンタルヘルス(職員)	水野 優子					
3032	2月20日	火	ドキュメンテーション (ワークショップ)	水津 幸恵					
3033	10月19日	木	実技(絵画)	桐島 歩・ 石黒 雅人					
3034	7月10日	月	実技(運動)	平井 博史					
3035	5月24日	水	実技(絵本)	藤田 篤					
3036	11月20日	月	実技(リズム遊び)	高橋摩衣子					
3037	6月2日	金	遊び・玩具の魅力	川北 恭子					
4038	12月7日	木	実践検討会 (第1ブロック・北部)	西川 正晃					
4039	12月8日	金	実践検討会 (第2ブロック・中部)	上村 晶					
4040	11月10日	金	実践検討会 (第3ブロック・南部)	富田 昌平					
				合計	名	名	名	名	名

幼児教育スーパーバイザー訪問派遣希望調査票（令和5年度）

園 名	記 入 者

※「希望しない」場合も提出ください。

- 1 貴園は、園内研修において、学識経験者等の助言・協力を希望しますか。（該当に○）

	希望する
	希望しない

⇒「希望する」と回答した園は以下の項目にもお答えください。

- 2 どのような研修内容で、助言・協力を希望しますか。

【記入に関しての注意事項】

- A 教科・領域：下記を参考にして、研修テーマをご記入ください。

(三重大学) ⇒ 幼児教育、健康・体力向上、特別支援教育、絵画表現 (他大学 専門家) ⇒ 幼児教育 特別支援教育
--

※園の研修テーマに合わせて、三重大学または他大学・専門家のどちらかを選ぶようにしてください。

- B 希望回数：1回 1回の時間は、保育観察・話し合い込みで3時間から4時間

- C 研修内容：できる限り具体的にご記入ください。

- D 学識経験者等：派遣を希望する教員の**指定がある場合**はご記入ください。特に指定がない場合は空欄でもかまいませんが、できる限りご記入ください。

※ 三重大学の教授等の情報は下記の手順にてホームページを参照してください。

三重大学→教育学部→学部・研究科概要→課程・コース一覧→各コースをクリックにて確認してください。

※ 各園の希望を集約し、大学等との調整により派遣教官を決定します。

回数は、**概ね1回**と考えていますが、大学等との調整の都合上、希望通りにならないことがありますをご理解ください。

(桜花学園大学 上村教授は訪問2回 臨床心理士講師は午後の訪問です)

※ 集約後、応募状況によっては4月上旬に二次募集を行います。

- (1) 三重大学教育学部

A 教科・領域	B 希望回数	C 研 修 内 容	D 学識経験者等

- (2) 三重大学教育学部以外の学部及び近辺の他大学 専門家

A 教科・領域	B 希望回数	C 研 修 内 容	D 学識経験者等

保育幼稚園課 林宛て、メールにて提出してください。

※メールの件名・ファイル名には、最初に【園名】をつけてください。

e-mail アドレス：youjikyoiuku@city.yokkaichi.mie.jp

提出期限：令和5年3月17日（金）

幼児教育アドバイザー訪問に係るアンケート

園名		記入者・職名()	
訪問実施日	令和 年 月 日()	訪問回数	回目
○今回の研修テーマを下記からお選びください(○をつけてください)			
	こども理解・環境構成	保護者対応	小学校との接続
	人材育成	その他	
○本日の訪問について			
○今回の訪問で良かった点や、今後役に立つと感じられたことをお聞かせください。			
○現在の園の状況として困っていることや、今回の訪問相談支援で足りなかったことをお聞かせください。			

四日市市幼児教育センター
 TEL059-333-6002 FAX059-333-6003
 E-mail:youjikyoiuku@city.yokkaichi.mie.jp

訪問後2週間をめぐり
 提出願います

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

四日市市幼児教育センター所長 宛

電話:059-333-6002 FAX:059-333-6003

E-mail: youjikyoiiku@city.yokkaichi.mie.jp

幼児教育スーパーバイザー訪問による園内研修計画書

園名		代表者名	
園児実員 (計画時)	0歳児()人 1歳児()人 2歳児()人 3歳児()人 4歳児()人 5歳児()人		

研修内容	幼児教育 特別支援教育 健康・体力向上 絵画表現 ※どれか一つに○をしてください。				
大学・講師名					
研修会 実施予定日時	令和 年 月 日 曜日 : ~ :	(打ち合わせを行う場合の日時)			
	令和 年 月 日 曜日 : ~ :	(打ち合わせを行う場合の日時)			
参加者		1回目	合計	2回目	合計
	園長・所長等(管理職)	人		人	
	主任保育士・主幹教諭・主幹保育教諭	人		人	
	保育士・教諭・保育教諭	人		人	
	その他の職員	人	人	人	人
当日のスケジュール					

園担当者名

提出先 幼児教育センター担当 まで

--

※電子データ提出時のファイル名、メール件名には、「園名」+「幼児教育スーパーバイザー訪問要請」としてください

令和 年 月 日

四日市市幼児教育センター所長 宛
電話:059-333-6002 FAX:059-333-6003
E-mail:youjikyoiuku@city.yokkaichi.mie.jp

幼児教育スーパーバイザー訪問による園内研修報告書

園名	0	代表者名	0
園児実員 (計画時)	0歳児()人 1歳児()人 2歳児()人 3歳児()人 4歳児()人 5歳児()人		

研修内容	幼児教育 特別支援教育 健康・体力向上 絵画表現 ※どれか一つに○をしてください。				
大学・講師名	0				
研修会 実施予定日時	令和 年 月 日 曜日 : ~ :	(打ち合わせを行った場合の日時)			
	令和 年 月 日 曜日 : ~ :	(打ち合わせを行った場合の日時)			
参加者		1回目	合計	2回目	合計
	園長・所長等(管理職)	人		人	
	主任保育士・主幹教諭・主幹保育教諭	人		人	
	保育士・教諭・保育教諭	人		人	
	その他の職員	人	人	人	人
所感 成果 課題等					

園担当者名

提出先 幼児教育センター担当 まで

0

※電子データ提出時のファイル名、メール件名には、「園名」+「幼児教育スーパーバイザー訪問要請」としてください。